

大清水中だより

教育理念 自由と責任

2020年8月31日発行 9月号 <http://www1.fujisawa-kng.ed.jp/johsh/> TEL 0466-50-8353

藤沢市立大清水中学校

〒251-0002

藤沢市大鋸 1400

校長 百武 三郎

とても短い夏休みが終わり、授業が再開しました。例年の夏休み明けでも気温が高いのですが、一週間早く始まった今年は通学途中の熱中症も心配です。周囲を見て人がいなければマスクを外すなどして体温調節をしたり、塩分も考えた水分補給を行ったりするなどして体調管理に努めたいものです。

朝食アンケートから

全校生徒を対象に朝食アンケートを実施しました。これは教育委員会からの依頼によるものです。その結果を見てみると学年によってさほど違いはないのですが約9割の生徒が朝食は「毎朝食べる」「食べる日が多い」と回答しました。しかし約1割の生徒は「食べない」「食べない日が多い」と答えました。また、食べない理由として「食べる時間がない」「食欲がない」と答えています。

朝食をとらないことが続くとそれが当たり前になりますが、朝食をとらないことで集中力が上がらなかったり、熱中症になりやすかったりあまりいいことはありません。日によってはタイマーを仕掛け忘れてご飯が炊けていないなど朝食準備が難しい日もあるでしょう。時には食欲のない日もあるでしょう。そんな日はパンや牛乳やシリアルあるいは魚肉ソーセージなどだけでもいいと思います。食べ物を口に入れ、飲み物などを飲んでから活動を始められるといいですね。中学生なので自分で用意することもできると思いますが、家族の応援が子どもの一日を乗り切るためにも大切です。元気の素を補給して登校させてください。



生徒総会が行われました～自治の力～

7月27日に生徒総会が開かれました。ご存じのように生徒会は生徒が学校生活をおくる上での様々な問題点や課題を改善、解決するために組織されたものです。今回もICTを活用してリモートでの総会を行いました。例年の体育館での生徒総会とは大きく雰囲気が異なりましたが、生徒会本部役員や各委員会の委員長、部長たちも丁寧に説明、提案していました。各学年の教室でもスクリーンを見ながら真剣に検討している姿が印象的でした。選挙権が18歳となった今、誰かに何かをしてもらうだけでなく、将来を見据えて自分（達）が何をすべきなのか、どう取り組めばいいのかを、他人事ではなく自分事として考え実行できるように、必要な力や経験を積み重ね育んでほしいと思います。生徒一人ひとりに自治の意識が芽生え、自治の力がさらに高まるよう願っています。

交流戦2020

新型コロナウイルス感染症の影響で、毎年夏に行われてきた総合体育大会が残念ながら中止になってしまいました。これまで頑張ってきた3年生のためにも何とかできないものかを市の中学校体育連盟で考え、『交流戦2020』として実施しました。開催にあたっては感染を防ぐために、生徒の検温や試合時間の短縮をはじめ、保護者の参観ができないなど辛いお願いもしましたが、すべての運動部が大会に参加し、中学校での部活動に区切りをつけることができました。生徒からは「勝敗よりも試合ができてうれしかった」といった声も聞かれました。大人になったときに「そんなことがあったね」と笑い話ができるといいなあ、と思います。様々なご配慮をいただき、ありがとうございました。また、文化部についてもその取り組みの成果を発表できる場を設定しようと校内で検討中です。

(写真を学校ホームページの保護者ページに掲載中です)



体育祭は9月24日 ～ 無観客ですみません… ～

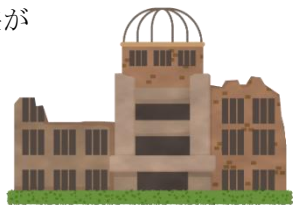
3年生に聞いたところ「文化祭よりも合唱コンクールよりも、たとえ規模を縮小してでも体育祭を行いたい」と答えました。4月に小学校から異動してきましたが、中学校の体育祭の迫力はしっかりと脳裏に焼き付いています。練習段階からあらん限りの声を出し、当日は声をからした担任とともに大切な思い出を刻む。中学校生活の中でも大切な教育活動だと思います。残念ながら大きな声を出しての体育祭とはなりませんが、種目の変更や競技時間の短縮など、コロナウイルス感染予防対策を行って実施します。保護者の皆様の参観については大変申し訳ないのですができません。練習期間に入ったらぜひ毎日の頑張りを聞いてあげてください。そして汚れた体育着からその日の頑張りを感じ取ってあげてほしいと思います。

忘れてはならない75年目の夏

日本が行った最後の戦争から75年。戦時中の自らの体験を語ることができる人も、かなり高齢な方々に限られるようになっていきます。私の両親は戦争を体験した世代です。父は海軍の准士官として南方へも行ったそうです。幾多の戦闘を経験し、命令を受けて潜水艦を乗りついで日本に戻り内地で終戦を迎えたそうです。母は御所見村（藤沢市の北西部）に生まれ、役場の事務員として召集令状（いわゆる赤紙）を幾軒もの村の家庭に届けたそうです。子どものころ、そんな両親に私は、戦争映画を見てすごいと思い、戦闘機を見てカッコいいと思い、それを話しました。すると父は「そんな格好のいいものではない。銃声が鳴りやむと、さっきまで隣で話をしていた友人は二度と言葉話さぬ人になっている。」そしておもむろに靴下を脱ぎ、かかとを見せたのです。そのかかとは凹んだようになっていました。「グラマン（戦闘機）に撃たれたんだ。」そんな父は夜になると夢を見ているのか、うなされていることが度々ありました。今で言うPTSD（心的外傷後ストレス障害）でしょう。戦後30年40年たってもその症状は治まることはありませんでした。また母からは「藤沢にもB29（爆撃機）が飛んできて空襲もあった。」

また、「戦時中を描いたドラマのように、召集令状を届けに行き、おめでとうございます、というように言われていたが言えなかった。届けるのもつらかった。」と聞きました。母の兄たちも兵士として戦地に赴いていました。長兄は近衛兵として沖縄に行き、そのまま帰らぬ人となりました。その話を聞き戦争の恐ろしさを感じ取ったように思います。97歳になった母は、「あの年の夏も暑かった。空襲もおっかなかったけど、食べる物がほんとになくて…。今はコロナがおっかないけど、食べる物だけはある。今の人達はその分だけは幸せかなあ…。戦争も病気も怖くていやだなあ…。」と話してくれました。

中学校の校長として、また一人の大人として、子どもたちが生きていく未来がコロナウイルスなどの病気もない、戦争もない平和な時代であってほしいと願います。ここ数年、日本を取り巻く国際関係は決していい状態とは思えません。経済や文化の面ではグローバル化が進んでいますが、近隣の国々との関係はどうでしょう。世界に視野を広げれば、今もどこかで銃声が響き悲しみの涙が流れています。新たな病気の出現はなかなか防げないかもしれません。しかし、人々の勇気と叡智で戦争を起こさないことはできると思います。未来を生きる子どもたちには、そんな勇気と叡智を持った人になり、戦争や病気の不安のない平和な社会を築く大人となってほしいと願う夏でした。



来年度、特別支援学級が開級します

来年（令和3年）4月から大清水中学校に特別支援学級が設置されます。特別支援学級は学習上・生活上の困難を抱え、個別の支援を必要とする子どもたちが、少人数の学級編成により日々の生活に結びついた指導を受けるための学級です。藤沢市では子どもたちの教育的ニーズに応じた施設・設備、教育内容を用意し、地域社会の一員として生活する「共生」の視点から、通常の学級との交流や共同学習も大切にして、特別支援学級の運営を行っています。本校は市内の中学校で14番目の開級になります。12月ごろから特別支援学級の教室・職員室を整備する工事が行われる予定です。工事関係車両の出入りなどでご不便をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞご理解とご協力をお願いいたします。



9月の予定

日	曜日	行 事	日	曜日	行 事
1	火	前期期末試験 1 日目	17	木	耳鼻科検診
2	水	前期期末試験 2 日目 進路説明会	18	金	
3	木	前期期末試験 3 日目	19	土	
4	金	専門委員会	20	日	
5	土		21	月	敬老の日
6	日		22	火	秋分の日
7	月	体育祭練習期間開始	23	水	午後体育祭準備
8	火	全校評議会	24	木	第 37 回体育祭
9	水		25	金	
10	木	教育実習開始	26	土	
11	金		27	日	
12	土		28	月	5 校時まで 部活動なし
13	日		29	火	
14	月	学校公開週間（～23 日）	30	水	
15	火		31	木	
16	水	体育祭予行	1	金	

学校公開週間 14 日（月）～23 日（水）

9 月 14 日から 23 日までで学校公開を行います。参観については保護者の方だけでお願いします。また参観の折はマスクの着用や手指消毒、三密を避けるなど感染防止にご協力ください。期間中は体育祭の予行も行われます。距離をとって静かに生徒の活動をご覧ください。